

# press release

## ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

2018年10月3日(欧州現地時間10月2日発表)

PRESS-18-24

第54回欧州糖尿病学会(EASD)年次学術集会(会期:2018年10月1日~5日、開催地:ドイツ・ベルリン)の期間中に、ノボ ノルディスク社が発表したプレスリリースの日本語翻訳・編集版です。内容や解釈については資料の正式言語である英語版が優先されます。原文は [novonordisk.com](http://novonordisk.com) よりご覧ください。

### 2 型糖尿病の予防と治療の鍵を握るのは、社会的・文化的要因に取り組むこと

2 型糖尿病の負担の軽減することを目的とした医療・保健サービスや公衆衛生の戦略は、社会的・文化的要因に取り組まない限り効果がない可能性があるということが新たな調査により明らかにされました<sup>1</sup>。研究者たちは、食習慣や伝統的な男女の役割といった要因が都市における糖尿病がもたらす問題の増加に関係があることを示しました<sup>1</sup>。今後 2045 年までに 4 人に 3 人の糖尿病患者が都市で生活することになることが見込まれています<sup>3</sup>。これらの研究結果は Cities Changing Diabetes(都市に蔓延する糖尿病の克服)プログラムによるもので、ドイツのベルリンで開催されている第 54 回欧州糖尿病学会(EASD)年次学術集会において発表されました。

ロンドン大学(UCL)の医療人類学教授デイビッド ネピア氏は、次のように述べています。「政策決定者や医療従事者の最善の努力にもかかわらず、長年にわたり糖尿病は驚異的なスピードで増え続けています。この破壊的で費用のかかる疾病に対し形勢を逆転させるためには、これまでの考え方を一変し、新しいアプローチを採用する必要があります。公衆衛生の戦略や患者個々のケアプランにおいて、地域に存在する文化、慣例、そして行動習慣などを勘案すれば、より効果が上がる可能性が高まるでしょう」

肥満の割合が急増していることに後押しされ 2045 年までに糖尿病は、成人の 9 人に 1 人(7 億 3,000 万人以上)に及ぶ可能性があります<sup>2</sup>。同じ期間における糖尿病関連の年間医療費は、7,750 億米ドルから 39%増えて 1 兆米ドル以上に達する見込みで、早急な対策が求められています<sup>4</sup>。

研究結果の中で研究者たちは、世界中の都市における糖尿病の増加に寄与するいくつかの社会的・文化的要因を指摘しました<sup>1</sup>。

- コペンハーゲンでの糖尿病の予防ケア/サービスの障壁となっている標準的な**病院紹介制度**
- ヒューストンでの伝統や文化と密接に関係し、しばしば「心地よさ」をもたらしている**食習慣**
- メキシコシティでの男性だけの家庭で、効果的なセルフケアをできなくしている伝統的な**男性の役割**(一部の男性は他の同居者に対して糖尿病サポートを提供することに文化的な障壁がある)

第 54 回欧州糖尿病学会(EASD)年次学術集会で Cities Changing Diabetes の研究者たちによって発表された二つ目の研究では、今日世界中のどの地域においても、糖尿病と肥満の割合が加速していることが実証されました。数十年にわたって肥満が増えている北米と欧州では、将来の 2 型糖尿病の有病率が最も高くなりますが、将来の患者が増加するスピードは遅くなると見込まれています<sup>5</sup>。一方ア

フリカでは、高齢化が進み肥満の有病率が増加するにつれて、糖尿病患者の数が3倍近く増加すると予想されています<sup>5</sup>。この大陸で肥満の有病率を25%減らすことができれば、2045年に2型糖尿病患者の患者数を1,500万3千人減らすことができると考えられます<sup>5</sup>。

ノボ ノルディスクのヘルスアドボカシー バイスプレジデントであるニールス ランドは、次のように述べています。「在宅ケアの提供、都市におけるコミュニティ内での診療所の再配置、もしくは宗教でつながった仲間同士の相互支援など、Cities Changing Diabetes プログラムのパートナーらが、既にこれらの研究結果に多大な影響をもたらしています。しかし、糖尿病の増加を止めるには、他の地域においてもこれらのアプローチから学び、地域のニーズを反映した糖尿病の対策を必要とします。この目標を達成するために、Cities Changing Diabetes プログラムは、糖尿病の予防と治療に取り組む誰もが参加できるオープンで包括的なパートナーシップとなっています」

### 研究について

最初の研究では、5つの多様性に富む都市(コペンハーゲン、ヒューストン、メキシコシティ、上海、天津)において、2型糖尿病がもたらす問題における文化的要因の影響を評価するために、脆弱性アセスメントを行いました。この研究には伝統や慣例、健康意識と食習慣、性別に関する姿勢、地域の医療習慣などが盛り込まれました。半構造化されたインタビューを行ない、合計740人を対象にアセスメントが実施されました<sup>1</sup>。

二つ目の研究ではこれまでのトレンドシナリオ及び研究の目標となるトレンドシナリオを用いて、2017年から2045年にかけての地域の2型糖尿病の有病率を調査しました。これまでのトレンドシナリオでは、将来における肥満の有病率の増加が直線的になると推定され、研究の目標となるシナリオでは肥満の有病率が2045年に25%減少することを仮定しています。2000-2014年の世界中の国々のBMIデータをNon-communicable Disease Risk Collaboration(NCD-RisC)から入手し、シナリオに応じてそれぞれの年齢およびBMIの分類に該当する人々の配分を算出しました<sup>5</sup>。

### Cities Changing Diabetes(都市に蔓延する糖尿病の克服)について

Cities Changing Diabetes(都市に蔓延する糖尿病の克服)は、肥満症を25%減らすことで2045年までに糖尿病患者を10人に1人にするという意欲的な世界的目標を掲げる初のパートナーシッププログラムです。都市のリーダー、政府自治体、大学や研究所などの学術研究機関、糖尿病関連団体、医療保険会社、地域のコミュニティ団体、一般企業を含む100を超える地域パートナーが、産官学の協力体制のもとで分野を越えて協業を行っています。この中で、糖尿病の問題を検討し、解決策を共有し、都市に蔓延する糖尿病の克服するために様々な活動を推進しています。

このプログラムは、ロンドン大学、コペンハーゲンのステノ糖尿病センター、ノボ ノルディスクという3つのグローバルパートナーによって2014年に立ち上げられました。今日、1億3,000万人を超える市民を代表する17の都市がパートナーとして活動しています。(2018年9月現在)日本においては、2018年9月に郡山市、福島県立医科大学と「郡山市における糖尿病対策に係る研究」の共同研究基本契約を締結し、郡山市における糖尿病対策に係る研究を進めています。

## References

1. Volkmann A-M, Hesseldal L, Bagger M, *et al.* Local traditions and conventions impact vulnerability to type 2 diabetes. Abstract presented at the 54th Annual Meeting of the European Association for the Study of Diabetes (EASD), Berlin, Germany; 1-5 October 2018.
2. Moses A, Lund N, Jensen BB, *et al.* Illustrating the pivotal role of obesity as a driver of diabetes. Abstract presented at the 25th European Congress on Obesity (ECO 2018), Vienna, Austria; 23–26 May 2018.
3. International Diabetes Federation. IDF Diabetes Atlas, 7 ed. Brussels, Belgium: International Diabetes Federation; 2015.
4. Cities Changing Diabetes. Diabetes Projection Model, Global. Data on file. Novo Nordisk. In: Incentive, ed. Holte, Denmark; 2017.
5. Nielsen S, Napier D, Jensen BB, *et al.* Regional burden of obesity and diabetes in adults – projections from 2017-2045. Abstract presented at the 54th Annual Meeting of the European Association for the Study of Diabetes (EASD), Berlin, Germany; 1-5 October 2018.

ノボ ノルディスク社は、デンマークに本社を置き、95 年以上にわたり糖尿病治療に必要な革新的な医薬品の開発を通じ糖尿病ケアの革新をリードしてきました。糖尿病の克服を目指して培ってきた経験や能力は、肥満、血友病、成長障害といったその他の重篤な慢性疾患の領域にも活かされています。ノボ ノルディスク社は現在 79 カ国に約 4 万 3,100 人の社員を擁し、製品は 170 カ国以上で販売されています。日本法人は 1980 年に設立されました。